

第1回学校協議会 報告

平成23年7月14日(木) 14:00~16:00 於:本校校長室

出席者 委員 企業総務部長、元大学教授、大阪市立中学校長、学校医・産業医
地域自治会会長、私立高校前進路指導主事・広報部長
私立高校近畿地区指導部長、PTA会長、成城会会長

事務局 校長、事務部長、教頭、首席、進路指導主事、グループ長、総務部長、書記

- 1 校内施設見学
- 2 校長挨拶
- 3 委員委嘱
- 4 委員紹介・事務局員紹介
- 5 協議会会長の選出
- 6 総合学科7年目の本校の状況及び学校教育活動全般の概要説明
本年度の課題について (校長)
 - ・平成24年度入学生から、全日制総合学科に改編、部がなくなり一括募集を行う予定
 - ・遅刻・欠席が多い生徒は、進路決定が難しい。
 - ・卒業見込みが出せない生徒に、1~2年次でいかに単位を修得させるか。
 - ・遅刻者数は、5月末現在で前年度に比べ71%減少、欠席者、早退者も減少している。
- 7 協議
(1)部活動活性化 (2)地域連携強化 (3)情報発信の具体的な強化策 について

【主な提言】

淀川工科高校の吹奏楽部が有名であるが、学校で1つでも輝くようなクラブを作ることができれば良い。

学校全体としてクラブの後援組織を考え、そのための活動を行う。

例)写真部:地域の写真を撮影、文化祭等で発表、軽音楽部:学校外での演奏
学校からの情報発信として、学校の様子を地域に流し親しみを持ってもらう。

例)より広い地域で回覧板を活用する。

地域連携について、以下の活動を行う。

- ・地域の方に文化祭への参加を依頼する。
- ・地域に学校が入っていく。
- ・小高連携を継続しつつ、中高連携に重点をおく。例えば、クラブ活動での連携生徒の力を活用する。与えるのではなく、自ら目的を持たず。

ものづくりをベースにした生徒集団を作り上げる。ものづくりコンテスト、産業教育フェア等で、各種の賞を受賞させることでモチベーションをあげていく。いかに生徒に自己肯定感を持たせるか。

遅刻・欠席が多い生徒に、就職を目標に生活習慣の改善指導ができないか。子どもが生き生きすれば、保護者もついてくる。

- 8 その他
第2回は11月に予定